

# Dracula's Feast - ドラキュラ伯爵の宴 - 日本語抄訳v1.1

デザイナー：Peter C. Hayward アートワーク：Tania Walker

プレイ人数：4-8人 プレイ時間：10-15分 対象年齢：10歳以上

このゲームは推論ゲームである。他のプレイヤーを注意深く観察し、適切な質問をして全員の正体を最初に言い当てよう。ゲストには特殊能力があり、中には特別な勝利条件をもつゲストもいる。

## 内容物：

- ・ゲストカード、告発カード各13枚
- ・リファレンスカード20枚
- ・囁きカード20枚(イエス：10枚、ノー：10枚)

## 準備：

- ・プレイヤー数+1枚のゲストカードを選択する（ドラキュラは必ず含める。）。（最初のゲームは、ドラキュラ、アーカード、ブギーモンスター、トリックスター、ゾンビを推奨。）
- ・ゲストカードに対応する告発カードを、テーブルの中央に表向きで並べる。
- ・選択しなかったゲストカードと告発カードは箱に戻す。
- ・各プレイヤーに、囁きカードを2枚（イエス・ノー）ずつ配る。
- ・ドラキュラ以外のゲストカードをシャッフルし、1枚をテーブルの中央に裏向きで置く（秘密のゲスト）
- ・残りのゲストカードにドラキュラを入れて再度シャッフルし、各プレイヤーに1枚ずつ裏向きで配る。
- ・ゲームの開始前に、ゲーム中にメモをとってもよいかどうかを相談して決定する。

## ゲームの遊び方：

最も鋭い牙をもつプレイヤーをスタートプレイヤーとして、時計回りで手番を行う。手番では、次のアクションから必ず1つを行う。

### ◆質問：他のプレイヤー1人を選び、そのプレイヤーに特定のゲストかどうかを尋ねる。

（例：「あなたは、狼男ですか？」）

そのプレイヤーは、質問に対する回答の囁きカードを裏向きで質問者に渡す。質問者はそのカードを秘密裏に確認した後、返却する。

\* 質問に対する回答は、ゲストカードに言及されていない限り、真実を回答しなければならない。

### ◆ダンス：他のプレイヤー1人を選び、そのプレイヤーをダンスに誘う。

（例：「私と踊っていただけませんか？」）

そのプレイヤーが誘いに応じた場合、秘密裏にお互いのゲストカードを見せ合う。誘いに応じなかった場合、何も起こらず手番を終了する。

### ◆告発：他のプレイヤー全員に対し、告発の意思を表明する。

他のプレイヤーは、ゲストの特殊能力を使用する場合、宣言する。

告発者は自分のゲストカードを表向きにして、他のプレイヤーの前に告発カードを1枚ずつ置く。全員の前に告発カードを置いた後は変更できない。

各プレイヤーは、自分の前に置かれた告発カードが自分のゲストカードと一致する場合イエスの囁きカードを、一致していない場合ノーの囁きカードを裏向きで告発者に渡す。

\* 告発に対する回答は、ゲストカードに言及されていない限り、真実を回答しなければならない。

告発者に渡された囁きカードをすべてシャッフルし、表向きにする。

すべてイエスだった場合、告発者がゲームに勝利する。それ以外の場合、告発は失敗となり、告発者は手番を終了してゲームを続ける。

すべての囁きカードを集めてシャッフルし、各プレイヤーに囁きカードを2枚（イエス・ノー）ずつ配る。

### **表向きになったゲストカード：**

ゲストカードを表向きのままゲームを続ける。そのゲストは、ゲストカードが表向きになった手番終了時に（プラスの能力・マイナスの能力のどちらも含めて、）すべての特殊能力を失う。

### **秘密のゲスト：**

秘密のゲストに対して、質問やダンスを行うことはできない。

### **その他：**

ゲーム中に秘密裏に話し合うことはできない。話し合いは必ず全員の前で行う。

ゲーム中に好きなだけ嘘をつくことはできるが、ゲストカードに言及がない限り、質問や告発に対しては必ず真実を回答しなければならない。

### **ヴァリアントルール：**

**秘密の追加：**秘密のゲストを2人にする。プレイヤーが秘密のゲストに対して何らかの行動等を行う場合、2人のうちどちらを対象にするかはプレイヤーが選択できる。

### **ゲスト：**

ゲストにはゲームを勝利に導く特殊能力がある。ゲストの能力がゲームのルールと矛盾する場合、ゲストの特殊能力が優先される。2つ以上の特殊能力が同時に発動した場合、手番プレイヤーがそれらの能力を解決する順番を選択する。

### **ドラキュラ (DRACULA)：**

何らかの理由で自分のゲストカードを表向きになった手番終了時に、告発できる。

### **アーカード (ALUCARD)：**

「あなたはドラキュラですか？」と質問された際に、イエスの囁きカードを質問者に渡す。告発の際、自分の前に「ドラキュラ」が置かれた場合、即座にゲームに勝利する。

### **ベルゼバブ (BEELZEBUB)：**

自分が他のプレイヤーに質問した際の答えがイエスだった場合、自分のゲストカードを表向きにしてもう1手番行うことができる。

追加の1手番では、質問も含めて、どんなアクションでも行うことができ、再度質問をして答えがイエスだった場合、さらにもう1手番行うことができる。

**自分のゲストカードが表向きになっていても、特殊能力を使用することができる。**

### **不気味な怪物 (THE BOOGIE MONSTER)：**

**すべてのダンスの誘いに応じなければならない。**

任意のプレイヤーがダンスをした後、自分がそのダンスに加わっていたかどうかは関係なく、自分のゲストカードを表向きにして告発できる。

また、ダンスの誘いを断られた場合、即座に告発することができる。

### **ジキル博士 (DOCTOR JEKYLL)：**

**他のプレイヤーに質問する場合、自分のゲストカードを表向きにし、秘密のゲストとゲストカードを交換しなければならない。**以後、自分のカードはそのゲストカードになる。

告発など、それ以外の手段で自分のゲストカードを表向きにした場合、その能力は使えなくなる。

### **奇術師 (TRICKSTER)：**

**質問された際、常にイエスの囁きカードを渡す。**

### **吸血鬼ハンター (VAN HELSING) :**

告発する際、ドラキュラの告発カードのみを置き、正解だった場合はゲームに勝利する。

### **狼男 (WEREWOLF) :**

すべてのダンスの誘いに応じなければならない。

他のプレイヤーが告発の意思表示をしたら、そのプレイヤーがゲストカードを表向きにする前に、狼男はそのプレイヤーに先んじて自分のゲストカードを表向きにし、告発することができる。

その告発が失敗した場合、告発の意思表示をしたプレイヤーが告発を行う。

自分の手番以外で告発をできるゲストもあり、その場合、そのゲストがゲストカードを表向きにした後かつ告発カードを置きはじめる前に、狼男は自分のゲストカードを表向きにし、告発することができる。

### **ゾンビ (ZOMBIE) :**

すべてのダンスの誘いに応じなければならない。

ダンスの誘いをする事ができない。

告発する際、自分の両隣のゲストにのみ告発カードを置き、どちらも正解だった場合、ゲームに勝利する。

### **上級者向けゲスト :**

上級者向けのゲストカードにはジェリービーンズが描かれている。

### **ドラキュラの花嫁 (BRIDE OF DRACULA) :**

「あなたはドラキュラですか？」と質問された際に、イエスの囁きカードを質問者に渡す。

それ以外の質問に対し、ノーの囁きカードを渡した場合、即座に質問者のゲストカードを表向きにして告発する。質問者のゲストカードが既に表向きになっていても告発する。

### **青髭船長 (CAPTAIN BLUEBEARD) :**

任意のプレイヤーがダンスをした後、自分がそのダンスに加わっていたかどうかは関係なく、自分のゲストカードを表向きにして、そのダンスの参加者のゲストカードを確認することができる。

任意のプレイヤーが質問をした後、自分がその質問に関わっていたかどうかは関係なく、自分のゲストカードを表向きにして、その質問に対する囁きカードを確認することができる。

任意のプレイヤーが告発をした後、全員の前には告発カードが置かれたら、自分のゲストカードを表向きにして、その告発に対する囁きカード1枚を確認することができる。

青髭船長は、自分のゲストカードが表向きになると、これらの能力を使うことができなくなる。

### **魔法の鏡 (MAGIC MIRROR) :**

ゲーム開始時、すべてのプレイヤーは目を閉じ、任意のプレイヤーが秘密のゲストを表向きにする。

魔法の鏡は目を開けて、秘密のゲストを確認し、ゲストカードを裏向きにして目を閉じる。

その後、すべてのプレイヤーは目を開けて通常通りゲームをプレイする。

秘密のゲストを2人にしてプレイする場合、ゲーム開始前にどちらを確認するかを選択する。

### **怪人スワンプシング (SWAMP THING) :**

告発する際、告発カードを裏向きで各プレイヤーに渡す。

他のプレイヤーは、そのカードを秘密裏に確認し、告発者に囁きカードを裏向きで渡す。

すべての囁きカードがイエスの場合のみ、それらのカードを表向きにできる。

自分のゲストカードが表向きになっていても、特殊能力を使用することができる。